

平成 30 度 第 11 回一般社団法人三重県作業療法士会定例理事会議事録

日時：平成 31 年 3 月 17 日（日）9:05～12:00

場所：鈴鹿厚生病院

出席者：田中一彦、佐藤明俊、松本周二、橋本昌弘、井手洋平、宮坂裕之、石崎健、
山本泰雄、島崎博也、上西徹、上野平圭祐、牧野有華、（以上理事）

監事：永田穰、大塚美奈子

書記：佐藤明俊

部長・委員長：北川知宏（作業療法推進部）、富中真悟（教育部）、熊谷ちほり（発達支援作業療法推進委員会）、伊藤正敏（地域包括ケア推進委員会）

ブロック長：若山拓也（北勢ブロック）、山内雅之（中勢ブロック）、久保雅邦（南勢ブロック）

<協議事項>

1. 事務局より

1) 後援・共催依頼

- ・三重県介護支援専門委員会より 共催依頼

共催する

承認

- ・シニアいきいきチャレンジ教室 後援依頼

後援する

承認

- ・第 6 回三重県小児セラピー研究会 共催依頼

共催する

承認

2) 総会時勉強会の会場振り分けについて

平成 31 年 6 月 9 日（日）9:30～10:30 勉強会実施

視聴覚室、レセプションルームの 2 会場を用いて「MTDLP・認知症関係」の勉強会を実施する。

総会・選挙等の詳細は HP に掲載していく

承認

3) 日本作業療法士協会代議員選挙運営委員の選出について

三重県選挙管理委員長の伊藤篤史氏を推薦する

承認

4) 一般社団法人三重県作業療法士会創立 35 周年記念事業について

2020 年に創立 35 周年を迎える

白書作成に向けて、現在事務局で情報収集を行なっている。

白書は、今後 5 年毎に作成する

承認

35 周年記念式典については、規模・予算を検討し 4 月の理事会に提出する

保留

5) 伊勢市地域包括ケア推進協議会「ケアマネジメント支援分科会」委員推薦について

伊勢慶友病院、古野氏を推薦する

承認

2. 47 都道府県委員会のワーキンググループ企画への参画について

精神科ワーキンググループ企画が新たに追加される。

グループ創設に関し、初期から加わると情報収集などのメリットもあるが、開催地など遠方でもあり、県士会負担の予算面など考慮し近隣地での開催時に参加を検討する。今後、三重県から委員派遣も検討を行なっていく。

保留

3. MTDLP 推進委員の委嘱継続について

平成 31 年 4 月 1 日から 1 年間の任期

教育部部員の位田氏を推薦する

承認

4. 財務部より

(1) 地区勉強会 講師謝礼について

南勢ブロック地区別勉強会の講師謝礼として松阪地区 5 名、伊勢・鳥羽・志摩地区 1 名に 1000 円分のクオカードを渡していた。

マニュアルがなく各ブロックでの対応となっており、検討が必要

<支払い規定案>

①クオカード 1000 円で統一するか

②講師謝金の基準に沿って支払うか

→財務としては回数が多くなると税務処理の対応が困難

③謝礼は行わない

ブロック長より現状報告

北勢ブロックは、ブロック研修会内では謝金は支払っていない。交通費は支払っている

中勢ブロックは、支払いはしていない。ポイントシールを求められるが、90 分以上の研修を行っておらず、60 分の研修であり、ポイントシールも発行していない。

南勢ブロックの伊勢志摩地区では、作業療法士には支払っていないが、同施設内の理学療法士が講師を務めたため、謝礼としてクオカードを支払った。

松阪地区は作業療法士に支払っている

監事より

現時点で、予算立案していなければ、支払うことはできないのが基本
予算的に支払えるのであれば、計画にあげて運営していく必要あり。

次年度とか計画してあれば、支払いは問題ない。

他職種に関しては、謝金規定に従い支払うべき

作業療法士への謝金は検討すべき。

橋本理事より

勉強会と研修会の意味合いを明確にすべき。

会員向け勉強会では、講師謝金は当てはまらないのではないか。

他職種なども含める研修会などは、講師謝金は発生すると考える。

今後、規約集の中に詳細に明記して、ブロック長、地区担当者に配布すべき。

山内ブロック長より

他職種を講師にする場合、規定に沿って謝金を払う研修企画は、他のブロックに
広報する必要や運営面で煩雑であり気楽に開催できるような手段も必要と考える。

その点の検討も必要。

山本理事より

今年度は、勉強会・研修会の規模で基準を置いて、勉強会は講師費なし、研修会は
講師費ありとする。

監事より

勉強会は無料・研修会は参加費を徴収し運営していけば、規模の明確化は可能

予算なども含めて再検討する

保留

(2) 講師謝金ルールの確認

認知症作業療法推進委員会で開催された認知症アップデート研修の講師謝金は伝達講習であるため支払っていない。

出張していない委員が講師をつとめた場合講師費はどうすれば良いか、検討が必要

主催者側の伝達講習なため、講師費は発生しないのが基本と考えられる。

伝達講習は受けられない方もいるため、伝達資料の配布を検討して欲しい

→限定配布・パスワード対応を検討

来月の理事会までに再検討して報告する

保留

(3) 来年度予算案 別紙参照

災害対策委員会、財務部、障害者スポーツ推進委員会を検討

収入 4,220,000 円

支出 4,064,000 円

収支差額 156,000 円

積立金 400,000 円

次期繰越金 3,256,000 円

災害対策委員会の予算については、研修会参加人数、内容、必要性について確認して再検討

活動計画・予算追加

- ・臨床実習指導者研修会について予算立てが必要。

平成 30 年度の研修に参加した理事、参加者を講師に県内で 2 回開催予定。

講師は伝達講習のため、講師費は発生せず、実行委員に対しての交通費、会議費などの予算計上が必要。予算については教育部で検討。

日本作業療法士協会からの開催要項が、平成 31 年度第 1 回 47 都道府県委員会で報告される予定である。

- ・白書作成費 5 万を計上していく。

- ・選挙管理委員の予算も例年通りであるが、今年度は選挙もあるため、会議費などが必要であるから再検討する

保留

5. 平成 31 年度第 10 回 訪問リハ・地域リーダー会議参加者推薦について

全国 PTOTST 協会主催の研修会より推薦依頼あり

訪問看護ステーション ほたるみえの竹森氏を推薦する

承認

<報告事項>

1. ブロック長報告

北勢ブロック

別紙報告あり

ブロック長・地区担当の変更を行う

年次計画案は例年通りの回数で実施予定

中勢ブロック

別紙報告あり

来年度よりブロック長を 2 名体制にする予定

地区担当も変更していく

南勢ブロック

別紙報告あり

交通費について、基準の見直しを希望

会長より

交通費に関しては、他地区からも意見が出始めている。

交通費に関しては検討していく。

災害訓練結果報告について（事務局長より追加報告あり）

各ブロックメール連絡網にて実施

返信率（返信施設/施設数）

北勢：51 施設/51 施設

中勢：7 施設/37 施設

南勢：30 施設/45 施設

2. 監事から

- ・事務局移転の総括と今後について

移行して1年が経過したが、事務局、事務局長が分散した事での弊害など確認
文書の確認、連絡などの滞りが時々あり、手続きに関して遅れが生じた事あり
書類は内容を確認し、電話連絡も行なっていたが、原本などの書類は早急に転送する。
まだ、旧事務局へ届いているものもあり、転送で遅れが生じている。

3. 愛知医療学院短期大学卒業式について

招待状が届いたが、県外のため欠席とする。

4. 渉外部より

賛助会員について

今年度の賛助会員は2社

現在、県外の1社が会費未納

県内で協力いただける企業があれば、渉外部まで情報を伝えてほしい。

5. 事務局より

各部局の今年度の活動記録（写真）を集約したい

平成30年度の県士会裁量ポイントシールの集約を行うため、会員の整理をお願いしたい。各部局のデータは教育部でとりまとめる

総会の詳細日程を今後HPにも掲載するが、ブロック連絡網で広報する予定

LINE@の準備を現在行なっている。QRコードを会員証につけるようにし、情報の伝達を進められるようにしていく

各部局の発行した公文書ナンバーの報告もお願いしたい

6. 作業療法啓発部より

(1) 志摩ロードパーティーフマラソン 2019

日時：平成31年4月21日（日） 8:00頃～15:00頃

場所：志摩スペイン村

内容：マラソン前の準備体操としてリハレンジャー体操実施

マラソンゴール地点での受け入れに協力

目的：当士会としても例年参加している行事であり、リハレンジャーによる準備体操も慣例行事となっている。またマラソンコースとして、身体の不自由な方にもスポーツの楽しさを実感いただけるバリアフリーパーティランも実施しており、作業療法としての関わりが重要であり啓発効果も期待できる。

最低必要スタッフ数：7名（リハレンジャー5名、司会1名、記録雑用1名）
南勢地区を中心にリハレンジャーとして活躍していただける実行委員が揃った。

(2) 2018 三重県ふれあいスポレク祭 実行委員募集

日程：平成31年6月15日（土曜日）

時間：9:00～12:00（予定）

場所：四日市ドーム

内容：リハレンジャーでの体操、イベントのお手伝いなど

目的：三重県が主催する慣例行事であり、障がいのある方がスポーツ・レクリエーション等を通して交流を図り、自立と社会参加の推進を図る目的で実施しています。三重県に対してもOT啓発活動の場となります。

必要スタッフ：人数7名（リハレンジャー5名 司会1名 記録係1名）
北勢ブロックを中心に実行委員を募集依頼していく。

(3) 次年度予定

1) 作業療法推進活動PR

①4月：志摩ロードパーティーフマソン2018（バリアフリーパーティラン）⇒上記記載

②2019 三重県ふれあいスポレク祭

平成31年6月15日（土）・四日市ドーム

③7月高校生作業療法体験・見学会

期間：平成31年7月22日（月）～7月27日（土）で検討中

（終業式直後より開始）

④9月：PT・OT・ST 合同リハビリテーション啓発活動「救急・健康フェア2019」

⑤10月：赤堀ふれあい祭り）

※地域のお祭りといった要素が強く、医療職・リハビリなどの関連は薄い

本年は参加を見合わせて、5年に一度の節目の時に参加を検討する

⑥グリル四日市クリスマス会

8. 組織部より

第1回管理職OTネットワークの会

日時：平成31年2月17日（日）13:00～16:00

場所：三重県立こころの医療センター 講堂

内容：グループワーク

講演：「近年の学生の特徴や傾向と対応について」

講師：橋本昌弘氏（ユマニテク医療福祉大学校 作業療法士）

参加者数：8名

- ・前半にグループワークを行い、5つのカテゴリー（経営、部下・新人教育、他職種連携、メンタルヘルス、その他）で悩みや困りごとを書き出し、そこから選んで議論していった。

アンケート結果は別紙参照

次年度も企画していく

9. 運転と作業療法委員会より

三重県指定自動車教習所協会との意見交換会の実施

日時：平成31年3月26日（火）10:45-

場所：鈴鹿サーキット交通教育センター

参加者：田中会長、宮坂

内容：小山田記念温泉病院の患者が鈴鹿サーキット交通教育センターを利用した実車評価を行うこととなり、その様子を指定協の方が見学する。その後、意見交換を行う予定。

また、来年度、運転と作業療法委員会で研修会を行う予定。

学術部またはブロックで共催可能か検討したい。

10. 第30回三重県作業療法学会報告

平成31年3月2日（土）

三重県総合文化センター内 男女共同参画センター多目的室にて開催

参加者：会員135名（県外5名・非会員1名）

一般公開講座：137名

アンケート実施し、90名弱70%の協力あり

11. 第31回三重県作業療法学会について

平成32年3月1日（日）もしくは8日（日）で検討している

会場は、三重大学に決定

学会テーマ：生活を支えるEBOTと、NBOTの実践

学会内容・企画

特別公演・一般演題（口述・ポスター）企業展

STとの共同開催する予定

12. 教育部より

生涯教育受講登録システム登録責任者について担当者の変更

担当には主体会病院福井氏と、三重県総合医療センター富中氏に依頼する

次回理事会日程

日時：平成 31 年 4 月 12 日（金） 19:30～

場所：鈴鹿厚生病院